



## 8 JR春日井駅前防犯ステーション運営協議会（春日井市）

### 地域自主防犯活動活発化促進事業

#### 実施結果報告書

1 団体名	JR春日井駅前防犯ステーション運営協議会
2 事業名	住宅対象侵入盗撲滅事業
3 事業実施結果	<p>JR春日井駅前防犯ステーション運営協議会は、春日井市内において多発する住宅対象侵入盗を撲滅するため、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 パトロール体制の強化</li> <li>2 住宅対象侵入盗を撲滅するための啓発活動の実施</li> </ol> <p>に重点を置いた活動を推進した。</p> <p>1 パトロール体制の強化</p> <p>当協議会が、設立当時（平成20年）から使用していたパトロールグッズ（帽子、ベスト）は約10年の使用により老朽化したことから、今回新調し、合わせて春日井駅周辺のパトロールを強化することにした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(1) パトロールコースの選定</p> <p>当協議会の活動時間は、平日午後1時～午後5時を基本としている。春日井市内においては、住宅対象侵入盗のうち空き巣ねらいが圧倒的に多いことから、春日井警察署生活安全課指導のもと、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR春日井駅南北ロータリーと自由通路</li> <li>・ 篠木公園方面</li> <li>・ 鳥居松小学校方面</li> <li>・ 和爾良神社方面</li> <li>・ 春日井消防署方面</li> <li>・ 東部中学校方面</li> </ul> <p>をパトロールコースに選定し、活動することとした。</p>

## (2) パトロール方法

パトロールは複数人による徒歩で行うが、規則的にならないよう、あえて時間、コースはボランティアスタッフの「感性」に任せることにした。

更に、パトロール時には地域住民らに対し積極的に「あいさつ」を実施して「見せる、見えるパトロール」を行い、安心感の醸成に努めた。



JR春日井駅周辺のパトロール



保育園周辺のパトロール



地域住民へのあいさつ運動

### (3) パトロールにおける工夫

徒歩パトロールには青パトのような機動力はないが、徒歩だからそのメリットを生かし、車が入ってこないような細い路地にも目を向け、きめ細かいパトロールを実施した。

更に、パトロールの行きと帰りでは違う道を歩くなどの工夫もした。

## 2 住宅対象侵入盗を撲滅するための啓発活動の実施

### (1) 防犯グッズの選定

春日井市内における空き巣ねらいの侵入方法を検討すると、ガラスを破壊してクレセント錠を開錠する手口が多くを占めていた。

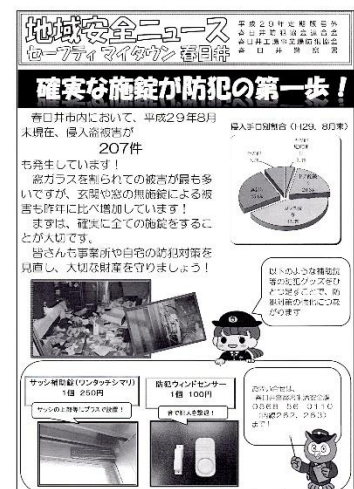
よって、春日井警察署生活安全課と協議し、キャンペーンにおいて配布する防犯グッズについては、簡単に設置できる上、効果が期待できる補助錠「ワンタッチ・シマリ」とした。

### (2) チラシの作成

キャンペーンにおいては、防犯グッズを配布するだけでは効果が期待できないことから、春日井市内における被害発生件数やワンタッチ・シマリの使用例などを記載したチラシを、キャンペーンの度に春日井警察署生活安全課に作成していただき、配布することとした。



ワンタッチ・シマリ



春日井警察署作成のチラシ

### (3) 第1回住宅対象侵入盗撲滅キャンペーンの実施（9月14日）

同日午後3時30分ころから、JR春日井駅自由通路（改札出口）付近において、

ボランティアスタッフ 18名

春日井警察署生活安全課 2名

春日井市市民安全課 1名

により、チラシ及びワンタッチ・シマリ200セットを通行者に配布し、補助錠の設置による被害防止を呼びかけた。



生活安全課長とボランティアスタッフ



自由通路におけるキャンペーンの状況



補助錠の使い方などを説明して、補助錠を配布する状況



- (4) 第2回住宅対象侵入盗撲滅キャンペーンの実施（10月12日）  
 同日午後3時30分ころから、JR春日井駅自由通路付近において、
- |             |     |
|-------------|-----|
| ボランティアスタッフ  | 20名 |
| 春日井警察署生活安全課 | 2名  |
| 春日井市市民安全課   | 1名  |
- により、チラシ及びワンタッチ・シマリ200セットを通行者に配布し、被害防止を呼びかけた。





(5) 第3回住宅対象侵入盗撲滅キャンペーンの実施（11月14日）

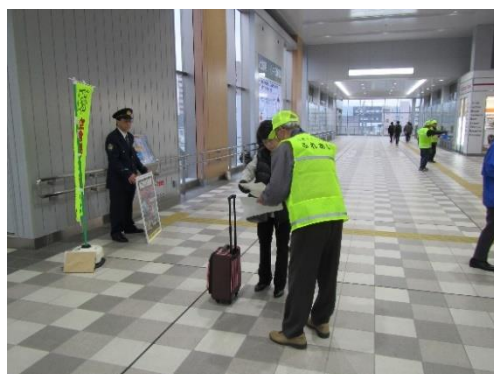
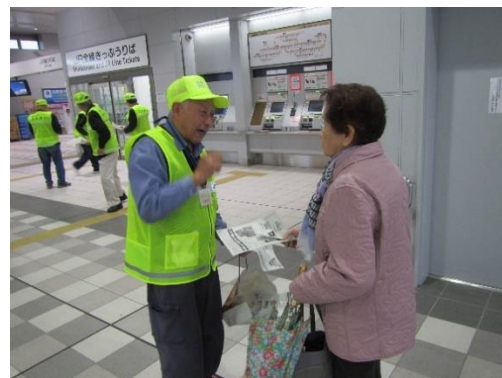
同日は、愛知県県民生活部地域安全課員を迎えて、午後3時30分ころから、JR春日井駅自由通路付近において、

ボランティアスタッフ 12名

春日井警察署生活安全課 2名

春日井市市民安全課 1名

により、チラシ及びワンタッチ・シマリ200セットを通行者に配布し、被害防止を呼びかけた。



### 3 尾張県民事務所との合同啓発活動の実施（12月8日）

春日井市からの要請により、尾張県民事務所が主催する「交通事故及び安全なまちづくりの推進に関する街頭啓発活動」に協力し、午後5時30分ころから

ボランティアスタッフ	6名
県職員	7名
春日井警察署	2名（生活安全課、交通課）
春日井市職員	2名（市民安全課、交通対策課）

により、ティシュペーパー、傷バンドなどの啓発品400組を通行者に配布して、意識啓発を行った。



尾張県民事務所のあいさつ及び啓発品を配布する状況

### 4 年末特別警戒合同出陣式への参加（12月1日）

同日午後6時から、春日井市役所市民ホールにおいて開催された「年末特別警戒合同出陣式」に、当協議会は防犯ボランティアの一団体として参加した。

同出陣式は、平成20年から市内の防犯ボランティアを一堂に会して、年末における防犯意識の高揚を図るために行われている。

出陣式においては、ボランティアスタッフも決意を新たにし、市役所から駅前防犯ステーションまでパトロールをしました。



年末警戒合同出陣式において整列する状況



4 成果と課題  
及び今後の  
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

ア 新調したパトロールグッズを着用してパトロールをした結果、付近住民からの認知度が上がり、グッズが安全・安心の色になったと自信を持っている。

また、積極的なあいさつ運動を続けた結果、出会う方から「お疲れさま」「ご苦労さま」など労いの言葉をかけていただけるようになり、ボランティアスタッフのやりがいにもつながっている。

イ JR春日井駅で合計3回600個の補助錠を配布して被害防止を呼びかけた。市民の方もボランティアスタッフの説明を熱心に聞いていただき、気持ちよくワンタッチ・シマリを受け取っていただいたので、住宅対象侵入盗対策に役立てていただけたと考えている。

ウ 平成29年中の春日井市内の空き巣ねらい被害については、昨年よりも23件少ない125件の発生で、16%の減少となりました。

エ 平成20年9月の設立以来、協議会の活動も10年目となった。ボランティアスタッフの高齢化が進んでいるが、民間でできる防犯活動をいかに継続するかが課題となっている。

(2) 今後の取組み

JR春日井駅前防犯ステーションの愛称は、設立当時の公募で決めた「ふれあい」です。

防犯ステーションはコミュニティセンターとしての役割も大きく、それまで関わりのなかった人とボランティアを通じて知り合いになり、親しくなることも珍しいことではない。防犯活動を通じて地域との「つながり」「絆」を作ることも大切な活動の一つである。

私たちJR春日井駅前防犯ステーション運営協議会は

みんなで楽しみながら

「ふれあい」を大切にして絆をつくり

無理なく続けられる

活動を目指していきたいと考えている。